

泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより
Thai Japanese Association School



令和5年
第3号

〈メールアドレス〉
<https://www.tjas.ac.th>
〈電話番号〉
02-314-4151

バンコク日本人学校の教育課程について

「教育課程」とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育内容を児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した各学校の教育計画のことです。

では、バンコク日本人学校の学校教育目標をご存じでしょうか。

今年度の学校教育目標は、「夢や希望をもって、前進する子供の育成」です。

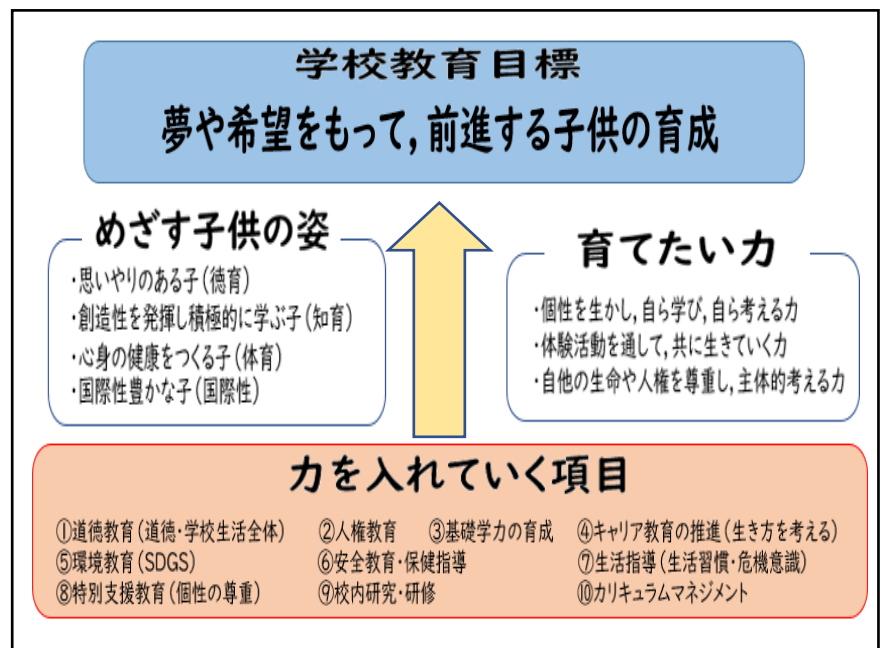
(図1)

この目標を達成するために、【学校教育】では様々な計画を立てています。その中で柱となっているのは、「めざす子供の姿」と「育てたい力」(図1)です。

教職員は「めざす子供の姿」を明確に設定し、その「力」を育てるために、各学年の発達段階に応じて学年目標を作成したり、研究推進委員会や各教科部会という組織(教員での組織)などを通して、どんな授業を行ったらいかなどを研究したりしています。

また、「力を入れていく項目」もあります。この中の⑤環境教育(SDGS)での取り組みを一例に紹介します。

小学5.6年生で組織される委員会に運営委員会・環境委員会があります。昨年度、各ご家庭にご協力いただいたペットボトル回収ですが、その2つの委員会の活動として、集まったペットボトルを色分けして潰し、リサイクル業者に渡す取組がありました。そのペットボトルですが、リサイクル業者のご厚意で、収集したペットボトルの一部を布として還元してくださるようになりました。そこで、令和4年度の1月に小中学生合同の「ゆめ集会」を開き、その布の用途を話し合いました。そして、今年度の運動会・体育祭のグッズにして使うことに決めました。どんな風に活用されるのか楽しみです。



令和4年度 ゆめ集会

自ら学び、自ら考える

本校では小学部から中学部への9年間の学びを通して、「自立した学習者」の実現を目指しています。その意味で、中学部の生徒は小学部の児童たちにとって、手本となる姿を見せられるよう頑張っています。

中学部では様々な場面で、生徒自らが考え、判断し、行動していくことの重要性を、日々の実践を通じて学びます。コロナ禍を経て、生徒たちは Google Classroom を活用した ICT スキルが大きく向上しました。授業での ICT 活用はもちろんのこと、生徒会や体育祭、合唱祭などの行事の際にも Google Classroom を有効利用します。縦割りグループごとに独自の Classroom を作成して、生徒が主体的に連絡調整を行いながら、それぞれの活動の企画運営を行うのです。このように身に付けた技能を活用し、自分たちで考えながら様々な活動に取り組んでいます。中学卒業後の進路、それは志望する高校に入学することだけ指しているのではありません。生徒一人一人が心に抱く、夢や希望に続く道筋のことです。バンコク日本人学校では、9年間を通して段階的に一歩ずつ夢に向かって進んでいく力を身に付けます。

ご家庭／地域の皆様とともに

学力向上、豊かな心、たくましい体の育成など、子供たちにとってよりよい教育を行っていくには、「学校」「家庭」「地域」の協力が大切と言われています。

【地域との繋がり】ですが、海外ということもあり、日本人学校は日本国内と比べると、地域と繋がるのが難しいように感じます。しかし、バンコクには、日系企業が多く、専門性の高い方や企業が多く見られます。学校内外を通して、子供たちの多様な体験活動の充実を図ることができるよう、教育活動等を見直していきます。

次に、【家庭との連携】です。『家庭教育はすべての教育の出発点。家族の触れ合いを通して、子供が基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナー等を身に付けていく上で、重要な役割をはたしています。(文部科学省「子供たちの未来を育む家庭教育」より)』とあります。学校で、頑張れるのも家庭があつてこそ。

今後も、「学校」「家庭」が共に歩むパートナーとなり、子供を中心に据えて話し合っていければと思っています。変わらぬご理解ご協力をお願いします。

